

平成27年度四国地域エネルギー・温暖化対策推進会議 支援プロジェクト

	プロジェクト名及び概要	応募者名・団体名	支援してもらいたい内容
No.1	うどんまるごと循環プロジェクト 香川県内の讃岐うどん店は800軒といわれ、うどんに使用される小麦量は年間約6万トンとされている。そのうち店舗や工場では5～10%が廃棄されているとされ、小麦換算で3,000～6,000トン、水分を含んだうどん換算ではそれ以上が廃棄されている。 これまで、廃棄うどんは養豚場のエサとして利用されるほかは、廃棄物処理業者に依頼して産業廃棄物として化石燃料を使用して焼却処分されている。 このように、香川県内ではうどん店から廃棄されるうどんが大量であり、その処分に化石燃料(A重油等)を使用していることから、大量の温室効果ガスを排出する一因ともなっている。 2015年度は、今までの取組を更に発展させるため、①うどんまるごと循環システム・モデルの構築(完成)、②市民、学校等への全県的な普及啓発、③市民、企業、団体等による参画、を積極的に推し進めることにより、地球温暖化防止等に資することを目的として進めていく。	うどんまるごと循環コンソーシアム	○イベント等における後援名義、募集のための周知・呼びかけ
No.2	香川県エネ節電所 ウェブサイト上で香川県内の家庭や事業所に取り組んでいただきたい省エネ・節電行動を示し、実施できるものを選択していただくことで、省エネ・節電効果を分かりやすく数値で表すことにより、節電に興味を持っていただき更に、二酸化炭素削減等に取り組んでいただく。(平成26年7月か 開設) また、平成27年7月から、イラストやクイズなどを通して、楽しみながら省エネ・節電を学んでいただくためのキッズページを新たに開設している。	香川県環境政策課	○広報など普及啓発面でのサポート(事業所への登録呼びかけ)
No.3	学生による「STOP! 地球温暖化」推進プロジェクト 学生が地球温暖化防止活動に自ら取り組み、体験することで、温暖化をはじめとする環境問題への関心を高めるとともに、学生のアイデアを活かした普及啓発の企画・実施により、次世代を担う若い世代を中心とした、効果的な地球温暖化対策を推進する。 県内の大学又は大学院に在籍する学生のうち、地球温暖化に危機意識を有し、県内で地球温暖化対策に取り組む熱意及び意欲がある者、又は当該学生が1人以上在籍する団体を要件とし、徳島県地球温暖化防止活動センター長が認めた学生等を「徳島県学生地球温暖化防止活動推進員」(学生推進員)として任命。 (制度開始時期:平成27年7月1日～)	徳島県地球温暖化防止活動推進センター	○学生推進員の活動事例の情報発信、広報PR及び学生推進員による企画イベント等について参加募集の広報等
No.4	「環境首都とくしま・未来創造憲章」動画啓発プロジェクト 徳島県では、平成27年1月に、環境に優しい「ライフスタイルの転換」を推進するため「環境首都とくしま・未来創造憲章」を策定し、本年を「憲章元年」として積極的な普及啓発に取り組んでいるところ。 今後、高校生や大学生等、特に若い方々への周知、啓発を進めていくため、同憲章の内容を盛り込んだ「動画」を公募することとし、「動画」の制作、活用を通じて若い世代を中心とした環境意識の向上を図る。なお、制作された動画は、徳島県内での普及啓発をすることを目的に活用することとする。 ※「環境首都とくしま・未来創造憲章」について 「ライフスタイルの転換」の推進に向け、日常生活における「買う」「使う」など7つの基本的な行動別に記載し、更に、県民の皆様方に実践していただきたい具体的な「23の行動指針」を記載。また、次世代を担う子ども達にも環境問題に関心を持って取り組んでいただくため、「キッズバージョン」も追加している。	徳島県県民環境部 環境首都課	○動画の公募に係る周知、広報 ・ 選定作品(動画)の広報PR